

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道439号 <small>おおうえ</small> 大植バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	高知県
起終点	自： <small>こうちけんたかおかくんによどむらおりあい</small> 高知県高岡郡仁淀村織合 至： <small>こうちけんたかおかくんによどむらたらうだ</small> 高知県高岡郡仁淀村太郎田	延長	3.0km		
<b>事業概要</b> 一般国道439号は、徳島県徳島市を起点とし、高知県中村市に至る延長約247kmの幹線道路である。大植バイパスは、幅員狭小及び線形不良の解消を目的とした延長3.0kmの2車線道路である。					
H1年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H1年度用地着手	H2年度工事着手		
全体事業費	52億円	事業進捗率	66%	供用済延長	1.2km
計画交通量	2,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C <small>(事業全体)</small> 1.5 <small>(残事業)</small> 3.8	総費用： <small>(残事業)/事業全体</small> 17/56億円 事業費：15/54億円 維持管理費：2/2億円	総便益： <small>(残事業)/事業全体</small> 65/86億円 走行時間短縮便益：62/83億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：0/0億円	基準年： 平成15年	
<b>事業の効果等</b> 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車すれ違い困難区間を解消する） 災害への備え（現道等の事前通行規制区間を解消する） <span style="float: right;">他5項目に該当</span>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 国道439号は経済、産業、福祉等に寄与する重要な路線であるため、仁淀村をはじめとする1市6町4村の首長で構成される国道439号整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成14年11月29日）を受けている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 事前通行規制区間であり、現在も降雨により年20回程度通行規制行っている。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 現在までに1.2kmを部分供用している。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 一部について、用地買収が難航したが、現在は順調に進捗しており、早期供用を目指す。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 現道の歩行者の利用者が少ないことから、歩道幅員について見直しを行いコスト削減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>終点</p> <p>高岡郡仁淀村太郎田</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>大植バイパス L=3.0km</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>起点</p> <p>高岡郡仁淀村織合</p> </div> </div>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものとす。